

12月定例市議会開く

議長・副議長・監査委員 などの議会人事決まる

平成十六年十二月定例市議会は、十二月三日から十二月二十一日までの十九日間の会期で行われました。

市長からは、羽生駅自由通路設置及び管理条例や羽生市一般会計補正予算など十八議案が、議員からは意見書二件が提案され、いずれも原案のとおり可決されました。

また、今期定例会では、十二月三日に石森正雄議長、丑久保恒行副議長が辞職したことにより、正副議長の改選が行われ、議長に峯順三議員が、副議長に藤田肇議員が当選されました。

さらに、市議会議員から選任されていた齋藤隆監査委員が、同日付けをもって辞職したため、市長から新たに蜂須直巳議員を選任したい旨の提案があり、議会で適任と認め同意しました。

正副議長の

就任ごあいさつ

市民の皆様には、常日頃市政の運営に対し深いご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

私たちは、去る十二月定例市議会におきまして、議員各位のご推挙により、議長・副議長の要職を務めることになりました。

このことは、私たちにとりまして身に余る光栄であるとともに、その責任の重大さに身の引き締まる思いをいたしております。

さて、日本経済が依然低迷を続けているなか、国は財政

の抜本的改革を図るため、三位一体の改革を掲げ、地方交付税や国庫補助金の大幅な減額を行っております。

このため、地方自治体の財政運営は、かつてない危機を迎えており、当市においても自主自立プロジェクトを立ち上げ、さまざまな検討を重ねるなど、財政再建に向けた取り組みを行っています。

私たち市議会においても、行政と一体となり、市民の皆様が安全で安心して暮らせるまちづくりを目指し、全力を傾注して参る所存であります。

今後とも、市民の皆様の一層のご支援とご協力をお願い申し上げます。

監査委員に

蜂須直巳議員



監査委員
蜂須 直巳

総務委員会、産業建設委員会において 正副委員長が改選

- | | |
|---------|-------|
| 総務委員長 | 大貫 巖 |
| 副委員長 | 小野 幸夫 |
| 産業建設委員長 | 松本 敏夫 |
| 副委員長 | 永沼 正人 |

埼玉県都市競艇組合 議会議員に峯順三議長を選出

埼玉県都市競艇組合議会議員である石森正雄議員が、十二月三日をもって辞任したため補欠選挙を行い、指名推薦により峯順三議長が同組合議会議員に当選しました。